

質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	清水浩徳	<p>◎ スマートフォンによる行政サービス業務の効率化について</p> <p>1 町では令和3年度にお知らせアプリ「ミジカ」を開設し、広報紙の提供・災害時の安否確認機能・防災マップ・北海道地区道路情報等のお役立ち情報を配信している。</p> <p>同時にLINE「鹿追町」も開設しており、これらを使いこなすため通信事業の「ヒグマ」と「地域コミュニティ活性化のためのデジタル化推進に関する連携協定」を締結し、「スマホよろず相談」を開催した。</p> <p>受講者団体・人数、講座内容等はどのような状況か。</p> <p>2 行政サービス業務の効率化として、公共料金や税金の収納にQRコードやバーコードを使ったスマホ決済を導入し、業務の軽減を図っては。</p>
2	狩野正雄	<p>◎ 持続可能な地域社会の構築について</p> <p>本町では2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」をした。</p> <p>「とちろ鹿追ジオパーク」では再認定の審査が進められている。</p> <p>地球上では新型コロナウイルス感染拡大や温暖化、赤潮や軽石による漁業被害等人類の未来を脅かす様々な課題がある。</p> <p>地球環境の現状について、分かりやすく知る機会をつくることのできないかと考える。</p> <p>1 ジオパーク推進課環境科学専門員の金森職員による出前講座等で、環境学習の機会をもてないか。</p> <p>2 地元に興味を持ち、地域を支える担い手をどう育成するか。計画と課題は。</p> <p>3 ゼロカーボンシティの今後の取組やスケジュールは。町民には何を求めどのような行動をすべきか。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
3	山口優子	<p>◎ 第7期鹿追町総合計画の進捗管理の方法は</p> <p>第7期鹿追町総合計画は2020（令和2）年から2027（令和9）年の8年間の期間とする鹿追町の最上位計画であり、町及び町民全体で共有する計画である。</p> <p>計画の進捗具合、達成状況等について町民に分かりやすく公表することが求められている。</p> <p>計画の進捗状況は、24の重点プロジェクトについての評価がまとめられている。これは8年間のうち1年が終了した時点での評価調書、PDCAサイクルシートだが、一目で達成状況等が分かり、町民にとってより分かりやすいものにしてほしい。</p> <p>事業評価は全て担当課による自己評価なので、評価の根拠となる数字を示し、客観的判断ができる指標を設定して他の課からもPDCAサイクルシートのチェックを受けることが望ましい。</p> <p>また、総合計画審議会や総合計画策定会議のメンバーと進捗や事業評価について定期的に意見交換をしては。</p> <p>総合計画の進捗管理の方法、事業評価の在り方についての考えは。</p>